



ひょうご 県議会だより

広げよう夢、伝えよう私たちの心、
あなたの声を県政へ

No.109

平成28年度
春号第331回(2月)
定例会議会

兵庫地域創生元年となる平成 28年度当初予算案などを可決

～審議日程 平成28年2月18日～3月24日(会期36日間)～

「毎朝登山道」神戸市北区鈴蘭台 松本 康雄さん(神戸市北区在住)の作品
—第30回鈴懸の径絵画展(主催/公財)兵庫県芸術文化協会受賞作品より—



2月定例会議会の概要

◎知事提案説明

2月18日の開会日には、条例制定などの議案が上程され、井戸知事が提案説明を行いました。

◎代表・一般質問

2月24日の本会議では、各会派を代表して4人の議員が質問を行い、25日からは、4日間にわたり、それぞれの立場から20人の議員が一般質問を行いました。(→2面・3面参照)

◎予算特別委員会を開催

3月1日には、平成28年度当初予算案などを審査するため、予算特別委員会を設置しました。同委員会は4日から18日にかけて専門的に詳しく審査を行い、平成28年度当初予算案などを原案どおり可決すべきものと決しました。

◎議案などを審議・可決

平成28年度当初予算案など議案104件、意見書案10件、決議案1件を可決した他、2件の請願を採択しました。(→4面参照)

2月定例会議会の主な審議日程

2月18日(木)
本会議(開会)・議案上程
・知事提案説明 等2月23日(火)
本会議

追加議案上程 等

2月24日(水)
本会議

代表質問(4人)(2面参照)

2月25日(木)～3月1日(火)
本会議・一般質問(20人)(2、3面参照)
・予算特別委員会設置3月2日(水)
常任委員会
予算特別委員会

付託議案審査

3月3日(木)
本会議

委員長報告、討論、表決

3月4日(金)～3月18日(金)
予算特別委員会

付託議案審査

3月22日(火)
本会議・委員長報告、討論、表決
・追加議案上程 等3月23日(水)
常任委員会

付託議案審査

3月24日(木)
本会議(閉会)

委員長報告、討論、表決 等

・民主党・県民連合は、4月1日付けで、ひょうご県民連合に会派の名称を変更しました。

議会トピックス

○議場コンサート開催

開会に先立ち、兵庫芸術文化センター管弦楽団による議場コンサートが行われました。レジデント・コンダクターの岩村力さんの指揮で、クラシックの名曲が演奏された後、入場者全員で楽団の演奏と共に「ふるさと」を合唱しました。



○大学生の議会参加

若者に県議会への関心を持ってもらうため、開会日に県内大学生20人が議長・副議長との意見交換会などに参加しました。



参加者は、議場コンサートを鑑賞した後、本会議を傍聴し、井戸知事の提案説明などを聞きました。

その後、議長・副議長を交えて、本会議を傍聴した感想や若者の政治への関心を高める方法について意見交換が行われました。若者の政治への関心を高めるには、「もっと情報発信してほしい」「教育の中でも、議会の活動について学ぶ機会が増えれば」などの考えが出されました。

第330回

臨時県議会を開催

国の補正予算による財源措置等を活用し、緊急経済対策等の事業効果を早期に発現させるため、2月1日に臨時県議会を開催しました。この臨時県議会では、子育てや介

護環境等の整備、地域創生戦略の展開やTPP関連農林水産業対策、防災・減災対策など、総額435億円規模の補正予算案を審議し、可決しました。

問

代 表 質 問

その他の質問

- 県産農林水産物ブランドの育成について
- 体験ツーリズムの促進について

A

産官学民が一体で利用に伴う危険性等の理解を深める取組を全国に先がけて行ってきた。さらに今回の青少年愛護条例の改正で、健全に利用する環境づくりを進める。

Q

青少年のインターネット等の利用対策を伺う。

吉岡 たけし（自由民主党）

その他の質問

- ひとり親家庭等への支援について
- 家庭教育への支援について

A

家庭や飲食店での食べ残し削減に向けた「30・10運動」の展開などの各種啓発活動、フードバンク活動のマッチング支援、バイオマスとしての利用促進などにより食品ロスの削減を推進していく。

Q

食品ロス削減の推進に積極的に取り組むべき。

島山 清史（公明党・県民会議）

その他の質問

- 伊丹空港のさらなる利活用について
- ウメ輪紋病対策について

A

効率的かつ経済的に浸水安全度を向上させる方策について、技術的な助言を行うとともに、市が防災安全交付金事業を活用し、内水対策を着実に進められるよう支援する。

Q

伊丹市の内水対策に対しどのように支援するのか。

川井田 清信（自由民主党）

その他の質問

- インバウンド対策について
- 若者教育への経済的支援について

A

外国人観光客が増加する中、神戸空港を最大活用できるよう、関西経済界や関係府県市とともに、3空港一体運用と規制緩和、国際化を目指す取組を進めていく。

Q

開港10周年を迎えた神戸空港の将来像は。

向山 好一（民主党・県民連合）

その他の質問

- 「地域祖父母育成モデル事業」の取組について
- 防災教育の必修化について

A

神戸市政・区政と連携しながら、地域創生の実現を目指すひとつの役割を、神戸県民センターが果たしていくとともに、県市関係機関の共同移転により賑わいの相乗効果を生み出したい。

Q

神戸県民センターの今後の役割と展開を伺う。

加田 裕之（自由民主党）

その他の質問

- 発達障害者への支援の現状と今後の取組について
- 地域医療構想の推進について
- 力強い農業の推進と農業・農村の維持について

A

地域創生は、自ら主体的に取り組むことが必要である。多様性を持つ地域を一つの兵庫として連携して、相互の特性を活かした総合力を発揮しなければならない。地域創生戦略の着実な推進のため、28年度早々には、事業計画と数値目標からなるアクションプランを策定し、「多様性と連携」を基本に、兵庫の未来を拓いていく。

Q

新たな発展の枠組みを構築し推進していくことが求められるが、兵庫創生の実現にどのように取り組むのか。

自由民主党（長岡 壮壽）

その他の質問

- 震災の教訓継承、発信の新たな展開について
- 本県の強みを生かした次世代産業の創出、振興について
- G7神戸保健大臣会合に向けたテロ対策について

A

国の低所得世帯を中心とした制度拡充をふまえ、県として中間層の負担軽減を図るため3人以上の子どもがいる多子世帯への支援を拡充し、所得制限を緩和する。また、新たに第2子を対象とする事業を創設する。月額5千円を超える保育料に対し3歳以上児に4千円、3歳未満児に5千500円を補助し、子育ての環境の充実を図る。

Q

来年度予算案で人口の自然増対策として打ち出された保育料軽減事業の拡充、創設の内容や考え方について伺う。

公明党・県民会議（岸本 かずなお）

その他の質問

- 自治体病院の県立病院化等について
- 障害者差別解消法施行を受けた具体的取組について
- 成熟した民主主義醸成のためのシチズンシップ教育の推進について

A

高校段階では低所得世帯への給付事業の実施のほか、4月から第1子への給付が増額となる。大学段階では、貸与制度だけであり、国に給付型の入学時一時金制度の創設等を要望している。ただ、返済能力に關係なく全て給付型とするには課題があることから、経済的に返還困難な者への柔軟な返還制度などの充実が国で検討されている。

Q

貧困の連鎖の解消に向け、教育の機会均等を図るため、給付型の奨学金制度の充実を図るべき。

民主党・県民連合（上野 英一）

その他の質問

- 公共施設を取り巻く現状と課題について
- 人事・給与について
- 教科書採択における謝礼問題について

A

関西広域連合は、府県存在を前提とし、関西全体の広域行政を担う責任主体を確立し、地方分権改革の突破口を開くという共通理解のもと設置した。単なる府県を廃止する道州制には反対であるが、府県と市町村の二層制を前提に、府県域を越える事務について、広域連合での可否などの検討を進めていく必要があると考える。

Q

関西広域連合の中に道州制の意義について議論の場を設け、地方の立場から発信すべきだと思うが、所見を伺う。

維新の会（堀井 健智）

質

一般

参画と協働の取組の評価と今後の進め方を伺う。

大豊 康臣（自由民主党）

A
これまでの取組により6割の人が活動に参加する等、着実に浸透してきていると評価している。今後、ICTを活用した情報発信強化等により参画と協働を着実に推進していく。

その他の質問

● ひょうごアドプトの推進について
● 地域の元気づくりに資する道路整備の推進について

家庭教育の充実への総合的な支援体制について。

藤本 百男（自由民主党）

A
家庭教育の体系化整備・推進本部制等の検討ほか、家庭は子育て・教育の原点であることを忘れず、学校教育、地域コミュニティ、食育、健康等トータルに推進していく。

その他の質問

● 誕生80周年を迎えた山田錦のブランド力の維持について
● 栗川駅まわりの博物館今後の展開について

津波発生時の避難対策にどう取り組むのか。

大谷 かんすけ（自由民主党）

A
「市町村津波避難計画策定の手引き」に基づき、市町に適切な避難計画を策定していただくとともに、県民の命を守りぬくため、市町とともに、実践的な避難対策に取り組む。

その他の質問

● 子供の貧困対策について
● 高齢フリーター対策について

国と県の子ども医療費助成を併用できないか。

しの木 和良（公明党・県民会議）

A
国の「小児慢性」助成は長期治療への負担軽減であり、乳幼児等への助成は一過性の医療を対象としている。国と地方の役割分担の観点からも両制度の併用は適当ではない。

その他の質問

● 節薬による医療費の削減について
● 特別支援学校高等部卒業後の専攻科設置による教育年限の延長について

安心して脳脊髄液減少症を治療できる環境を。

北条 やすつぐ（公明党・県民会議）

A
交通事故などの後遺症で苦しむ脳脊髄液減少症治療（ブラッドパッチ療法）の保険適用を踏まえ、研修会や啓発など病状や社会的偏見に苦しむ患者・家族支援に努めていく。

その他の質問

● がん予防に向けた検診強化について
● 兵庫の魅力を発信するアンテナショップについて

県民の期待に応える県営住宅の整備を求める。

いそみ 恵子（日本共産党）

A
県民ニーズに対応したより質の高い県営住宅の整備・管理を推進するとともに、民間賃貸住宅の適切な利活用も図り、重層的かつ柔軟なセーフティネットの構築に努める。

その他の質問

● 公立高校の入試制度について
● 武庫川の総合治水対策、河川整備について

全ての人がケアワークを担える働き方の推進を。

迎山 志保（民主党・県民連合）

A
多様な働き方を不利なく同じ条件で選択できる労働環境整備が重要との観点で、男女がともに意欲と能力を発揮して、仕事も生活も充実する兵庫づくりを目指して取り組む。

その他の質問

● がん闘病者の就労継続支援について
● 歩道橋撤去推進に向けた取組について

姫路の統合新病院に対する地元市からの支援は。

竹内 英明（民主党・県民連合）

A
姫路市へは整備用地の提供や、製鉄記念広畑病院移転後の市南西部の医療確保に対する協力など市民病院を持たない中核市としての必要な支援を求めていく。

その他の質問

● 組み体操の実施について
● 県民緑基金の県債管理基金への集約について

県立明石公園の活性化に向けた取組を伺う。

北口 寛人（自由民主党）

A
東播磨地域の観光・交流拠点と位置付けており、石垣等を際立たせる樹木の整備、平成31年の築城400年イベント、海外を視野に入れた桜や菊花展の情報発信等を行う。

その他の質問

● 県立こども病院について
● ウィンタースポーツの振興について

少子化対策としての若者の出会い支援策を伺う。

住吉 寛紀（維新の会）

A
昨年は、出会いサポート東京センターの開設や、会員登録の要件を緩和した。来年度は、神戸センターへ機能を集約し、市町窓口を開設するなど、今後も積極的に展開する。

その他の質問

● 瀬戸内法改正を契機とした瀬戸内海環境保全兵庫県計画の策定について
● 障害者スポーツの振興について

県立病院における災害時の受援計画策定状況は。

門 隆志（維新の会）

A
災害時に適切な医療を確保できるよう努めることは重要である。現在、受援計画を策定済の県立病院は2病院であるため、来年度中に全ての県立病院で計画を策定させたい。

その他の質問

● 犬猫繁殖業者への指導について
● 自動ブレーキシステムの普及促進に向けた取組について

飼料用とうもろこしの生産拡大の取組について。

樫野 孝人（無所属）

A
農地の区画拡大や、大型収穫機械、乾燥調製施設などの条件整備が課題であるが、現在、国において収穫機械の小型化の研究もされており、今後これらの動向を注視する。

その他の質問

● NHK朝ドラ「べっぴんさん」放映と元町再整備について
● 自殺防止対策の強化について

「阪神シニアカレッジ」の機能を強化すべき。

森脇 保仁（自由民主党）

A
平成30年度、宝塚市内に開設する新たな学び舎が、広域的に活躍する地域づくり人材の育成拠点となり、学生や卒業生の誇りとなるよう、施設整備と運営の充実に取り組む。

その他の質問

● 集落営農の法人化を見据えた地域農業の活性化について
● 新名神高速道路の借開始に向けた取組について

今後、中小企業振興施策のどこに力点を置くのか。

水田 裕一郎（自由民主党）

A
中小企業の産業競争力を高めることや県内各地域の活力を維持、発展させること、中小企業を支える人材の確保、育成に力点を置いて、中小企業の振興を図っていく。

その他の質問

● 姫路港の活性化について
● 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編について

地域創生元年、教育現場の課題にどう取り組むか。

藤原 昭一（自由民主党）

A
多様化する教育課題に対し、知事部局と教育委員会の連携を図りつつ、ふるさと兵庫を愛し、互いに支え合いながら明日の兵庫を切り拓く「自立した人づくり」を推進する。

その他の質問

● 県民総参加による兵庫の創生について
● 今後の再生可能エネルギー導入拡大について

平成28年度当初予算の概要

一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせて計21件の平成28年度当初予算案を可決しました。平成28年度の県政を推進する主な事業は次のとおりです。

平成28年度当初予算のあらまし

●予算編成の基本的な考え方

厳しい財政環境の中で、限られた財源を有効に活用するため、第3次行革プランにおける改革の取組を着実に推進し、施策の重点化を図る「選択と集中」を進め、県民ニーズに的確に応えることのできる予算を編成。

●予算の規模

一般会計	1兆9,495億円 (前年度比101.4%)
特別会計	1兆1,949億円 (前年度比92.6%)
公営企業会計	2,088億円 (前年度比99.4%)
合計	3兆3,532億円 (前年度比98.0%)

主な県政の重点施策

▶安全な社会の形成

- ひょうご住まいの耐震化促進事業
- 県立大学減災復興政策研究科(仮称)の開設準備

▶安心できる生活の実現

- 多子世帯の保育料軽減
- 兵庫県総合がん対策推進事業
- 認知症予防・早期発見の推進
- 障害者差別解消に向けた取組の推進

▶多彩な人材の活躍促進

- 学校・家庭・地域の連携協力推進
- 政治的教養を高める教育の推進
- 青少年のインターネット等の利用対策の推進
- 第36回近畿高等学校総合文化祭の開催

▶競争力ある産業の育成

- 地場産業ブランド力強化促進事業
- 中小企業向け融資制度の運用
- 新規就農者確保育成加速化事業
- インバウンド対策情報発信事業

▶ふるさとの元気づくり

- 神戸電鉄粟生線の活性化に向けた支援
- 戦略的移住推進モデル事業
- 県営住宅における地域創生事業の実施
- 「ふるさとひょうご寄附金」の新規募集事業
- イノシシ生活被害防止対策事業

▶兵庫の自立

- 県・神戸市連携事業の展開

条 例

▶青少年愛護条例の一部を改正する条例

青少年のインターネット利用に関する基準づくりを支援するもの。

▶兵庫県立森林大学校の設置及び管理に関する条例など計33件を可決しました。

その他の議決案件

▶平成27年度兵庫県一般会計補正予算

▶兵庫県男女共同参画計画の策定

▶ひょうご農林水産ビジョン2025の策定など計50件を可決しました。

決 議

▶北朝鮮によるたび重なるミサイル発射に抗議する決議

意見書

▶精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書など計10件を可決し、関係省庁などに送付しました。

請 願

意見書提出を求める計2件の請願を採択しました。

※可決した議案などの詳細はホームページをご覧ください。

◎各議案等に対する会派等の賛否をホームページで公表しています。
県議会トップページから「議案等に対する会派態度」をご覧ください。

選挙期日と議員任期のあり方検討会の検討結果

阪神・淡路大震災直後に議員任期を延長した影響で、県議会議員の選挙と任期開始の間に約2カ月の「ずれ」が生じています。(平成27年度:4月12日選挙、6月11日任期開始)

県議会では、この「ずれ」を解消するため、平成27年度に検討会を設置し、精力的に議論を重ねてきました。その結果、次期(平成31年6月～)の議員任期を約3年10カ月に短縮する特例法の制定を国に求めていくことで、全会派が合意しました。

今後は、同じ問題を抱える神戸、西宮、芦屋3市議会とも情報交換しながら、選挙期日と議員任期の「ずれ」の解消に取り組んでいきます。

	【従来】	【解消策】
31年4月	統一地方選 現任期(4年)	統一地方選 現任期(4年)
6月	次期任期 (4年)	次期任期 (3年10カ月)
35年4月	統一地方選	統一地方選
6月	次々期任期 (4年)	次々期任期 (4年)

35年4月
ずれ解消

2カ月
短縮

県議会プレゼントクイズ

Q 県議会には、定期的に開かれる「定例会」と必要に応じて開かれるものがあります。では、国の補正予算による財源措置等を活用した平成27年度補正予算等を審議するために、2月1日に開催されたのは次のうちどれでしょうか。



ア. 特別会 イ. 緊急会 ウ. 臨時会

正解者の中から抽選で10名の方々に、兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」(淡路市)のペア入館券をプレゼントいたします。
はがきに、クイズの答え、〒住所、氏名、電話番号、「県議会だより」についての感想を記入の上、平成28年5月6日(金)(消印有効)までに、下記宛てにお送りください。

〒650-8567(住所記入不要) 兵庫県議会事務局調査課

※商品の発送をもって当選発表と代えさせていただきます。
※お預かりした個人情報は商品の抽選及び発送以外の目的には使用いたしません。

県議会ホームページでは県議会の最新情報や過去の議会中継などもご覧になれます。

兵庫県議会

検索

<http://www.hyogokengikai.jp/>

編集・発行



兵庫県議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
☎078-341-7711(代) FAX.078-362-9031

次回6月定例県議会は6月上旬～中旬に開催される予定です。